

作成日: 1999年 9月 16日

改訂日: 2016年 7月 1日

安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド シリコン#70 主剤
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門: 品質保証課
 電話番号: 049(225)5611 F A X : 049(225)5616
 緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049(225)5611
 整理番号: シリコン # 70 主剤-07

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	分類対象外
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉塵, ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類できない
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:	該当なし
注意喚起語:	該当なし
危険有害性情報:	特記事項なし

注意書き

予防策: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
 屋外または換気の良い場所で使用すること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 環境への放出を避けること。

対 応： 火災の場合には、消化に粉末／炭酸ガス／泡消火器を使用すること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを
 着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で
 休息させること。
 下記の場合は直ちに医師の診断／手当を受けて下さい。
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、
 身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。
 漏出物を回収すること。

保 管： 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が
 立ち入れないような管理された場所で保管すること。

廃 棄： 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、
 業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
ポリアルキルシロキサン	7-476	非公開	50～60	該当しない	該当しない

4. 応急措置

眼に入った場合： 直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合： 直ちに流水で洗い流し、石鹼でよく洗浄する。症状により医師の
 診断を受ける。
 吸入した場合： 新鮮な空気のところできれいにし、症状により医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合： 吐き出させてはいけない。1～2杯の水または牛乳を与えて薄
 め、医師の診断を受ける。ただし、意識のない人には、口からも
 も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末消火剤・二酸化炭素消火剤・泡消火剤
 使ってはならない消火剤： 情報なし。
 特有の危険有害性： 情報なし。
 特有の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、下記の消火剤を使用して消火する。ま
 た延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク・建物等を冷
 却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具
 を着用する。
 消火を行う者の保護： 消火の際は、適切な空気呼吸器,保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項： 風下の人を退避させる。周辺への人の立ち入りを禁止する。
 付近の着火源となるものを取り除く。
 作業の際には必ず保護具を着用する。作業は風上により行う。
- 環境に対する注意事項： 漏出物を直接河川等の環境や下水等に流してはいけない。
- 回収・中和： 少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。
 大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材： 情報なし
- 二次災害の防止策： 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 技術的対策： [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、
 保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気： [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取扱い注意事項： 取扱いは保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて呼吸用保護具を使用する。
 引火性があるため、火気厳禁で取扱う。
 静電気対策のため装置・機器のアースをする。
 硬化時にアミノキシ化合物が発生する。
 吸入しないように、換気の良いところで使用する。
- 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管：

- 技術的対策： 密閉し、屋内冷暗所に保管する。
- 保管条件： 容器は、直射日光や火気を避け、密閉して換気の良い冷所に施錠して保管すること。
- 混触禁止物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料： 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 電気機器は防爆構造とする。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

- 管理濃度： 設定されていない。
- 許容濃度： 設定されていない。

保護具

- 呼吸器の保護具： 有機ガス用防毒マスク送気マスク
- 手の保護具： 保護手袋
- 眼の保護具： 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態、形状等： パテ状
- 色： 白色
- 臭い： 刺激臭ではないが、特有な臭い
- pH： データなし
- 融点・凝固点： データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし
- 引火点： 240℃ 以上

燃焼または爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重:	1.33g/cm ³
溶解度:	水に不溶
オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
その他情報:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	常温、常圧で安定
反応性:	強酸・強アルカリの接触により、重合あるいは分解がおこる。
避けるべき条件:	高温にて保管すること
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解性生物:	情報なし
その他:	情報なし

11. 有害性情報

刺激性(皮膚、眼):	:人によって皮膚、眼に刺激性がある。
急性毒性:	:現在のところ知見なし
慢性毒性:	:現在のところ知見なし

12. 環境影響情報

移動性:	物理化学的性質からみて、水域、土壤環境に移動しうる。
残留性/分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
生態毒性:	
魚毒性:	現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。
 乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。
 焼却の際は、シリカ粉が発生する。
 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。
 容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送:	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
海上輸送:	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送:	航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類:	該当しない
国連番号:	該当しない

15. 適用法令

消防法:	指定可燃物	
毒物及び劇物取締法 :		該当しない
労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物):		該当しない
施行令第18条 名称を表示すべき有害物:		該当しない
有機溶剤中毒予防規則:		該当しない
化学物質管理促進法:		該当しない
化審法:		該当しない

16. その他の情報

注意事項:

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したのですが、必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS):JIS Z 7253:2012)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料/製品メーカーSDS

作成日: 1999年 9月 16日

改訂日: 2016年 7月 1日

安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製品の名称: ショーボンド シリコン#70 硬化剤
 会社名: ショーボンドマテリアル株式会社
 住所: 埼玉県川越市芳野台2-8-10
 担当部門: 品質保証課
 電話番号: 049(225)5611 F A X : 049(225)5616
 緊急連絡先: 品質保証課 電話番号: 049(225)5611
 整理番号: シリコン#70 硬化剤-07

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分外
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分3
	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分1
	急性毒性(吸入:粉塵, ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分外
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分外	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	
環境に対する有害性:	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 吸入すると生命に危険
 皮膚に接触すると有毒
 飲み込むと有害
 皮膚刺激

注意書き

- 予防策: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 呼吸用保護具を着用すること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 対 応: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。
 特別処置が緊急に必要である。(このラベルの...参照)
 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと/取り除くこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

- 保 管: 換気の良いところで保管すること。
 涼しいところに置くこと。
 容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

廃 棄: 内容物/容器は、承認された焼却設備で処分する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
ポリアルキルアミノシロキサン	2-2958	非公開	99 以上	該当しない	該当しない
ヘキサメチレンジイソシアネート	2-2863	822-06-0	1 以下	該当しない	政令番号519

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合: 直ちに流水で洗い流し、石鹼でよく洗浄する。症状により医師の診断を受ける。
 吸入した場合: 新鮮な空気のところで安静にし、症状により医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合: 吐き出させてはいけない。1~2杯の水または牛乳を与えて薄め、医師の診断を受ける。ただし、意識のない人には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 粉末消火剤・二酸化炭素消火剤・泡消火剤
 使ってはならない消火剤: 情報なし。
 特有の危険有害性: 情報なし。

- 特有の消火方法: 火元への燃焼源を断ち、下記の消火剤を使用して消火する。また延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺のタンク・建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
- 消火を行う者の保護: 消火の際は、適切な空気呼吸器,保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: 風下の人を退避させる。周辺への人の立ち入りを禁止する。
 付近の着火源となるものを取り除く。
 作業の際には必ず保護具を着用する。作業は風上により行う。
- 環境に対する注意事項: 漏出物を直接河川等の環境や下水等に流してはいけない。
- 回収・中和: 少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。
 大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。
- 封じ込み及び浄化の方法・機材: 情報なし
- 二次災害の防止策: 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い :
- 技術的対策: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、保護具を着用すること。
- 局所排気・全体換気: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
- 安全な取扱い注意事項: 取扱いは保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて呼吸用保護具を使用する。
 引火性があるため、火気厳禁で取扱う。
 静電気対策のため装置・機器のアースをする。
 硬化時にアミノキシ化合物が発生する。
 吸入しないように、換気の良いところで使用する。
 加水分解性があるため、水分、湿気の混入に注意する。
- 接触回避: 「10.安定性及び反応性」を参照。
- 保管 :
- 技術的対策: 密閉し、屋内冷暗所に保管する。
- 保管条件: 容器は、直射日光や火気を避け、密閉して換気の良い冷所に施錠して保管すること。
- 混触禁止物質: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 容器包装材料: 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 電気機器は防爆構造とする。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。
- 許容濃度
- 管理濃度: 設定されていない。
- 許容濃度: 日本産業衛生学会 0.005ppm(ヘキサメチレン=ジイソシアネートとして)
 ACGIH TWA 0.005ppm(ヘキサメチレン=ジイソシアネートとして)

保護具

- 呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスク送気マスク
- 手の保護具: 保護手袋
- 眼の保護具: 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具: 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等:	液状
色 :	淡黄色透明
臭い:	刺激臭ではないが、特有な臭い
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	132℃ 以上
燃焼または爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重:	1.01g/cm ³
溶解度:	水に不溶
オクタノール／水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
その他情報:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	常温、常圧で安定
反応性:	加水分解性があるため、水分、湿気の混入に注意。
避けるべき条件:	高温にて保管すること
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解性生物:	情報なし

11. 有害性情報

刺激性(皮膚、眼) :	:人によって皮膚、眼に刺激性がある。
急性毒性:	:現在のところ知見なし
慢性毒性:	:現在のところ知見なし

12. 環境影響情報

移動性:	物理化学的性質からみて、水域、土壤環境に移動しうる。
残留性／分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
生態毒性:	
魚毒性:	現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。
 乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。
 焼却の際は、シリカ粉が発生する。
 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。
 容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

注意書き

- 予防策: 取扱い後はよく手を洗うこと。
 (製造者/供給者または規制所管官庁が指定する)保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 対応: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 保管: 施錠して保管すること。
- 廃棄: 内容物/容器は、承認された焼却設備で処分する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は 濃度範囲 (含有量%)	P R T R 法	労働安全衛生法 通知物質57条2
二酸化チタン	5-5225	13463-67-7	20~30	該当しない	政令番号191
ニッケル及びその化合物5%/ アンチモン及びその化合物10%	1-558/1- 543/1-517	8007-18-9	3.8*	該当しない	政令番号418 政令番号38
カーボンブラック	5-3328	1333-86-4	1~10	該当しない	政令番号130

※ニッケルとして0.19% (1%未満)

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 直ちに流水で洗い流し、石鹼でよく洗浄する。症状により医師の診断を受ける。
- 吸入した場合: 新鮮な空気のところでき安ん静にし、症状により医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合: 吐き出させてはいけない。1~2杯の水または牛乳を与えて薄め、医師の診断を受ける。ただし、意識のない人には、口からも与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 粉末消火剤・二酸化炭素消火剤・泡消火剤
- 使ってはならない消火剤: ウォータージェット
- 特有の危険有害性: 火災爆発の危険有害性はない
- 消火を行う者の保護: 消火の際は、適切な空気呼吸器,保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: 風下の人を退避させる。周辺への人の立ち入りを禁止する。
 付近の着火源となるものを取り除く。
 作業の際には必ず保護具を着用する。作業は風上により行う。
- 環境に対する注意事項: 漏出物を直接河川等の環境や下水等に流してはいけない。

回収・中和: 少量の場合、ウエス等に吸収後、空容器に回収する。
 大量の場合、土砂・土のうで流出防止後、空容器に回収する。
 封じ込み及び浄化の方法・機材: 情報なし
 二次災害の防止策: 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

技術的対策: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の設備対策を行い、
 保護具を着用すること。
 局所排気・全体換気: [8. ばく露防止及び保護措置]に記載の局所排気、全体換気を行なうこと。
 安全な取扱い注意事項: 取扱いは保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて呼吸用保護具を使用する。
 接触回避: 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管 :

技術的対策: 密閉し、屋内冷暗所に保管する。
 保管条件: 容器は、直射日光や火気を避け、密閉して換気の良い冷所に施錠して保管すること。
 混触禁止物質: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
 容器包装材料: 金属容器

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気の悪い場所では局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
 電気機器は防爆構造とする。
 取扱い場所の近くには、洗顔、身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度: 設定されていない。

許容濃度: 日本産業衛生学会: 設定されていない
 ACGIH: TWA3. 5mg/m³(カーボンブラックとして)
 ACGIH: TWA10mg/m³(二酸化チタンとして)

保護具

呼吸器の保護具: 呼吸器保護具
 手の保護具: 保護手袋
 眼の保護具: 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具: 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等: ペースト状
 色 : 灰色
 臭い: かすかな臭気
 pH: データなし
 融点・凝固点: データなし
 沸点、初留点及び沸騰範囲: データなし
 引火点: 270℃ 以上
 燃焼または爆発範囲: データなし
 蒸気圧: データなし
 蒸気密度: データなし
 比重: 1.2g/cm³
 溶解度: データなし
 オクタノール／水分係数: データなし

自然発火温度: 450°C
 分解温度: データなし
 その他情報: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性: 常温、常圧で安定
 反応性: 通常の貯蔵および条件下では、有害な反応は起こらない
 避けるべき条件: 情報なし
 混触危険物質: 情報なし
 危険有害な分解性生物: 情報なし
 その他: 情報なし

11. 有害性情報

刺激性(皮膚、眼): :現在のところ知見なし
 急性毒性: :現在のところ知見なし
 慢性毒性: :現在のところ知見なし

12. 環境影響情報

移動性: データなし
 残留性/分解性: データなし
 生体蓄積性: データなし
 生態毒性: データなし
 魚毒性: 現在のところ知見なし。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(廃液と廃プラスチック類の混合物)として許可を受けた専門業者に委託する。
 乾燥し固形状になったものは、廃プラスチック類として同様に処理する。
 焼却の際は、シリカ粉が発生する。
 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。
 容器、機械装置等を洗浄した排液等を、地面や排水溝へ流さないこと。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
 容器の漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。
 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
 国連分類: 該当しない
 国連番号: 該当しない

15. 適用法令

消防法: 消防法指定可燃物 可燃性液体類
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
 労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物): 二酸化チタン (政令番号191)

	ニッケル及びその化合物 (政令番号418)
	アンチモン及びその加質 (政令番号38)
	カーボンブラック (政令番号130)
施行令第18条 名称を表示すべき有害物:	ニッケル化合物 (政令番号24の2)
	カーボンブラック (政令番号130)
有機溶剤中毒予防規則:	該当しない
化学物質管理促進法:	該当しない
化審法:	該当しない

16. その他の情報

注意事項:

本データは、工業的な一般的な取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS):JIS Z 7253:2012)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料/製品メーカーSDS